

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響などと
共演して成功を取めた注目の女性指揮者
指揮=デリヤナ・ラザロヴァ
Conductor= DELYANA LAZAROVA



©Marco Borggreve

Scheherazade

ド布林カ・タバコヴァ: オルフェウスの彗星

DOBRINKA TABAKOVA: Orpheus' Comet

モーツァルト: オーボエ協奏曲 へ長調 K. 293 (G. オダーマッ補筆版)

MOZART: Oboe Concerto in F major K. 293 (completed by G. Odermatt)

リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」

NIKOLAI KORSAKOV: Scheherazade, op. 35



©読響

特別客演コンサートマスター=
日下 紗矢子

Special Guest Concertmaster=SAYAKO KUSAKA

世界的名手が奏でる至福のモーツァルト

読売日本交響楽団 第279回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 279

2025年 7月19日(土)
Saturday, 19 July 2025

読売日本交響楽団 第279回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 279

2025年 7月20日(日)
Sunday, 20 July 2025

¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

各14時開演 東京オペラシティ コンサートホール
14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

Oboe Concerto

現代最高峰のベルリン・フィルの首席奏者を務め、
甘美な音色で各地の観客を魅了する世界的名手

オーボエ=アルブレヒト・マイヤー

Oboe= ALBRECHT MAYER

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390 [10時~18時 年中無休]
<https://yomikyo.or.jp/>

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■本就学児のご入場は、固くお断りいたします。

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



アルブレヒト・マイヤー (オーボエ)

Albrecht Mayer, Oboe

世界最高峰の楽団の首席奏者を務め、甘美な音色で聴き手を魅了する世界的名手。ドイツ、バイエルン州生まれ。1990年からバンベルク響の首席奏者、その後92年からベルリン・フィルの首席奏者を務めている。ソリストとしてアバド、ラトル、アーノンクールらと共演。今年9月にはルツェルン音楽祭などでベレンコ指揮のベルリン・フィルと、B.A.ツィンマンの協奏曲のソロを務める。室内楽活動では、ピアノのアンソネスやグリモー、バス・バリトン歌手のクヴェストホフらと共演している。また指揮者としてデュッセルドルフ響、ハレ歌劇場管、ニュルンベルク響、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン祝祭管などを振っている。ドイツで最も権威あるエコー・クラシック賞を3度受賞。読響初登場。

ベルリン・フィルの名手が奏でる極上のモーツァルト

欧州で注目を浴びる女性指揮者デリヤナ・ラザロヴァが日本デビューを果たします。ブルガリア出身のラザロヴァは、アメリカとスイスでヴァイオリンと指揮を学び、数々のコンクールで入賞し頭角を現した新鋭。近年、欧米各地のオーケストラに次々とデビューし、成功を収めています。初登場の今回、リムスキー=コルサコフの傑作「シェエラザード」などの3曲を振り、その類稀なる才能を開花させるでしょう。

メインの「シェエラザード」は、アラビアンナイトの名でも知られる「千夜一夜物語」を基にしたリムスキー=コルサコフの代表作。大海原へ出航するシンドバッドを彷彿させる壮大なスケール感、異国情緒あふれる妖艶なメロディ、ハープや多彩な打楽器による華麗なサウンドが特徴的で、数ある管弦楽作品の中でも高い人気を誇っています。ラザロヴァのタクトは、濃厚かつ豊潤な響きを引き出し、ドラマティックな音楽絵巻を作り上げるでしょう。特別客演コンサートマスターの日下紗矢子が繰り返し奏でる優美な旋律にもご注目ください。

前半には、長らくベルリン・フィルの首席オーボエ奏者を務めている世界的名手アルブレヒト・マイヤーが共演します。マイヤーは、アバド、ラトルら巨匠と数々の名演奏を生み、とろけるような甘い音色で世界各地の聴き手を魅了しています。今回、モーツァルトの未完の断片からスイスの作曲家オダーマットにより復元されたオーボエ協奏曲（全3楽章）を演奏します。マイヤーは、変幻自在に音色を使い分け、コロコロと転がすような軽快なパッセージを抜群のテクニックで奏で、極上のモーツァルトの世界を表すでしょう。名人芸をたっぷりご堪能ください。

1曲目は、ラザロヴァと同じブルガリア生まれの作曲家タバコヴァの「オルフェウスの彗星」。蜜蜂が飛び交い、閃光が走る情景がミニマル風にスピーディに描かれ、モンテヴェルディの歌劇「オルフェオ」の「トッカータ」の音型が輝かしく響きます。5分ほどの短い曲ですが、同じパターンの繰り返しが空間的な広がりを生み、心地よい音楽体験となるでしょう。

魅惑的なメロディによるドラマティックな音楽絵巻



デリヤナ・ラザロヴァ (指揮)

Delyana Lazarova, Conductor

国際的に活躍し、注目を浴びるブルガリア生まれの新鋭。2025年9月にBBCスコティッシュ響と米国のユタ響、二つの楽団の首席客演指揮者に就任する。20年にアスペン音楽祭でコンロン指揮者賞を受賞。同年に英国のシーメンス・ハレ国際コンクールで優勝し、ハレ管にて副指揮者などを務めた。またケルン放送WDR響とフランス国立管でマチュラルの副指揮者も務めた。これまでにベルリン・ドイツ響、バーミンガム市響、フランクフルト放送響、ミネソタ管、ハノーファー北ドイツ放送NDRフィル、フィルハーモニア管、BBC響、バーゼル響、マルメ響、ローザンヌ室内管、クラウンフォールム・ウィーンなど多くの楽団に客演している。24年秋にはエネスコ・フェスティバルに出演し、好評を博した。読響初登場。

読売日本交響楽団 第279回 土曜マチネシリーズ

2025年 7月19日(土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第279回 日曜マチネシリーズ

2025年 7月20日(日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京オペラシティ コンサートホール

東京都新宿区西新宿3-20-2 Tel. 03-5353-0788

●京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)「初台」駅東口下車徒歩5分以内

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>